

第34回 火山噴火予知連絡会議事録

日 時：昭和60年5月17日（金） 13時～17時

場 所：気象庁第1会議室

出席者：会長：下鶴

委員：森*（北大）、高木、行武、井田、久保寺、加茂、太田、小坂、萩原**（科技厅）、
谷川**（国土庁）、水野**（文部省）、曾屋**（地質調）、水野、佐藤、高橋、
河村、鈴置、市川**（気象研）、原田

注）*：臨時委員 **：委員の代理出席

（ ）内は所属

オブザーバー：田中（弘前大）、金口（文部省）、古橋、吉田、中村、丸山、山本（雅）（気象庁）

庶務：田中、横内、安藤、小宮、山本、岩下、宇平、

1. 委員等の交替（鈴置委員）

渡部暉彦から井田喜明（東京大学地震研究所）

科学技術庁生活科学技術課長 大橋哲郎から高多康次

海上保安庁水路部企画課長 佐藤任弘から佐藤典彦

気象庁地震火山業務課長 山川宣男から鈴置哲朗

気象研究所長 竹内清秀から柳原一夫

気象庁火山室長 金沢茂夫から田中康裕（事務局）

2. 第33回連絡会議事録（事務局）

議事録（案）が読みあげられ、一部修正のうえ承認された。

3. 最近の火山活動

3.1 桜島〔田中（気象庁）・加茂委員〕

最近の火山活動状況、火山観測結果等について説明。次いで会長コメントの文案が検討され、
「桜島の火山活動に関する会長コメント」（後記 1）を発表することになった。

3.2 阿蘇山〔田中（気象庁）・久保寺委員〕

活動経過、火山観測結果等について説明。

最近の活発な火山活動への対策として、会長コメントを出すことになり、その文案が検討され、
「阿蘇山の火山活動に関する会長コメント」（後記 2）を発表することになった。

3.3 有珠山（森臨時委員）

地震発生状況、地殻変動観測結果から、火山活動は静かであるむね説明。

3.4 岩木山〔田中（弘前大）〕

弘前大学の岩木山の火山観測網及び1973～84年の地震発生状況について説明。1972年11月に地震が群発、それ以後は次第に静かになる。

3.5 那須岳〔田中（気象庁）〕

本年5月6～8日有感を含む数10回の地震が群発。1966年～1985年現在の地震発生数から、同火山は地震の多い山であることを報告。

3.6 草津白根山（小坂委員）

噴気孔温度、火山ガス、湯釜の水位、水温等の変化と火山活動の推移について報告。

3.7 伊豆大島〔田中（気象庁）、井田委員、行武委員〕

島内に設置してある体積歪計に今年1月と4月に変化があった（田中）。辺長測量結果には異常はない（井田）。電気抵抗に少し気になる変化があり、検討中（行武）。

3.8 箱根山（高橋委員）

1981～85年の地震発生状況について報告。特に、異常は認められない。

3.9 三宅島〔曾屋（地質調）〕

1983年噴火の流出溶岩の冷却状況について報告。

3.10 南硫黄島周辺海底火山（佐藤委員）

福神海山、福德岡の場、海徳海山、西之島等の火山活動について報告。

3.11 鶴見岳（久保寺委員）

本年3月12日と5月10日の地震の群発について報告。

4. 火山噴火予知連絡会の運営について

本日午前中の幹事会において火山噴火予知連絡会の運営について検討した結果を踏まえて、次の

4.1～4.3が提案並びに報告された。

4.1 火山噴火予知連絡会 幹事会の運営について

会長から原案〔幹事会議事録（案）参照〕が提出され原案どおり了承された。

4.2 委員の任期等に関する事務局の意向

事務局より、標記に関する申し合わせ事項〔幹事会議事録参照〕が報告された。

4.3 会報の様式等について

事務局より幹事会の議事録（「Ⅲ、その他」の項）について報告並びに提案された。そのうち、1）、2）、5）は原案どおりとし、その他の項は次のように改めることになった。

- 1） 会報に掲載する火山の順番、活動の活発な火山を前に掲載し、その他の火山は北から南へと並べる。
- 2） 会報に掲載する図には著者の個人名を掲載できることとする。（報告の著者名については従来通りとする）
- 3） 会報の目次を見易くするため、火山名を先に機関名を後に書くこととする。
- 4） 連絡会で議論する火山については、事務局が事前によく調査・打合せを行い、連絡会開催通知には検討火山名をなるべく多くとりあげるようにする。

5. その他

5.1 世界火山観測所機構について（加茂委員）

資料（後記3）に基づいて説明があった。

5.2 測地学審議会噴火予知特別委員会第3次火山噴火予知計画進捗状況レビュー小委員会について（加茂委員）

上記レビューの進捗状況と今後の予定について説明があった。

5.3 昭和60年度火山噴火予知計画関係予算の概要

各省庁予算について報告された。

6. 協議事項

6.1 次回連絡会開催期日

8月以降各委員と連絡して決めることになった。

7. 提出資料

1984年島原群発地震の活動と被害に関する総合調査

文部省 自然災害科学総合研究班

防災科学技術研究資料第95号

火山活動観測資料（硫黄島、霧島山）No.3 防災技術センター

北海道地域火山機動観測実施報告 第6号

(渡島大島)(昭和59年6月～7月) 札幌管区气象台

東北地域火山機動観測実施報告 第4号

(岩木山)(昭和59年8月～9月) 仙台管区气象台

火山機動観測実施報告 第20号

(草津白根山, 三宅島)(昭和58年7月～59年3月) 気 象 庁

九州地域火山機動観測実施報告 第5号

(雲仙岳火山)(昭和59年8月～11月) 福岡管区气象台

記者会見(於気象庁記者室)

17時00分～17時30分

出席者: 下鶴会長, 加茂委員, 久保寺委員, 鈴置委員, 田中(事務局), 小宮(事務局)